

国総施第172号
国総建第357号
国総振第172号
平成17年 3月11日

社団法人
日本建設機械化協会 会長 殿

国土交通省総合政策局 建設施工企画課長



国土交通省総合政策局 建設業課長



国土交通省総合政策局 建設振興課長



リコールの届け出に伴う建設機械の事故防止について

今般、国土交通省に対し、下記のリコールの届出がなされたところであるが、建設作業現場における当該建設機械の使用に際しては、事故防止の観点から貴団体傘下の会員各社に対し周知されたい。

記

1. 届 出 日 別紙のとおり
2. 届 出 者 "
3. 建 設 機 械 名 "
4. 通 称 名 "
5. 不 具 合 の 部 位 "
6. 詳 細 <http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall/recall05/02/recall02-013.html>

建設機械に係わるリコーンル届出一覧 (期間:平成17年2月17日~3月8日)

番号	届出日	届出者	建設機械名	通称名	型式	不具合の部位	リコーンル対象台数
1	平成17年2月17日	ヤンマー建機(株)	ショベルローダ	V1-1A	L1DA S32, SD-S32F, S32F, SD-S32F, S33F, S33F, SD-S33F, S34, SD-S34, S34F, SD-S34F, HS32, SD-HS32, HS32L, SD-HS32L, HS33, SD-HS33, HS33L, SD-HS33L, HS34, SD-HS34, HS34L, SD-HS34L, FS32, SD-FS32, FS32L, SD-FS32L, FS33, SD-FS33L, FS33L, SD-FS33L, FS34, SD-FS34, FS34L, SD-FS34L	制動ケーブル 警告器	9台
2	平成17年2月25日	TCM(株)	ショベルローダ フォークローダ	L27, L32, L35, L40, LX130, LX160, LX190, LX230, FL335, FL345, FL365			93台
3	平成17年3月3日	日立建機(株)	ショベルローダ	EX100WD-2	100W	かじ取り装置 (補助ステアリングシステム)	4台
4	平成17年3月8日	新キヤタピラー三菱(株)	ショベルローダ	三菱ホイールローダWS510	9W	動力伝達装置 (アクスルシヤフト)	280台

※詳細は別添の「リコーンル届出一覧表」を参照して下さい。

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室

TEL: 03-5253-8111(内線 42-353)

アドレス: <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

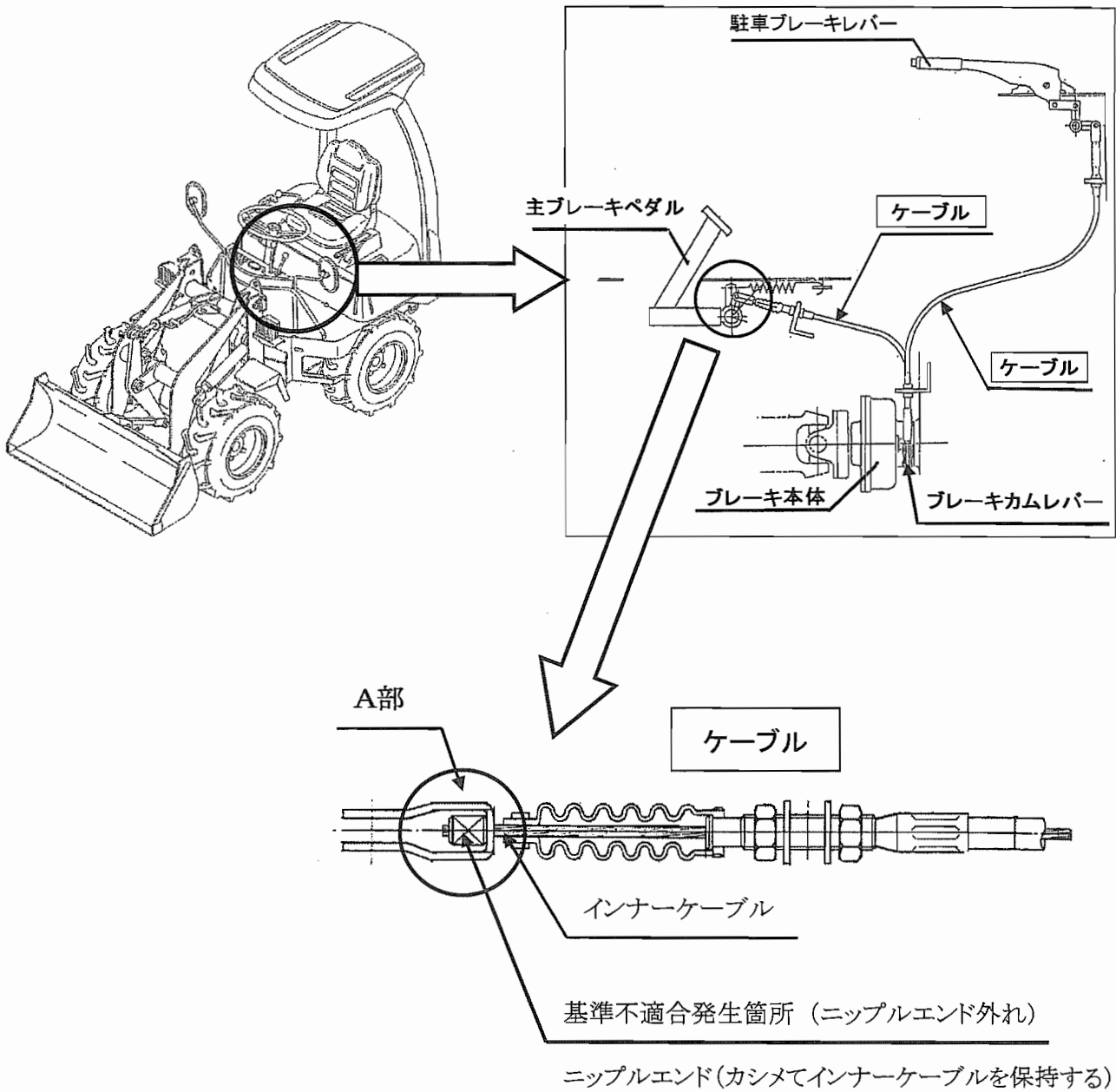
リコール届出日:平成17年2月17日

リコール届出番号	1358	リコール開始日	平成17年2月18日
届出者の氏名又は名称	ヤンマー建機株式会社 取締役社長 小林 文博	製作者	ヤンマー建機株式会社 問合せ先: 品質保証部 TEL 0942-53-8427
不具合の部位 (部品名)	制動装置(ケーブル)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	ケーブル式ブレーキにおいて、ブレーキペダル及び駐車ブレーキレバーとブレーキカムレバーを繋いでいるそれぞれのケーブルのニップルエンドのかしめが不適切なものがあるため、ブレーキ操作をした時にニップルエンドが外れ、主ブレーキまたは駐車ブレーキが作動しなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、ブレーキペダル及び駐車ブレーキとブレーキカムレバーを繋いでいるそれぞれのケーブルを良品と交換する。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	社内検査による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・ 使用者: 使用者を全て把握しているので、直接訪問して通知し対応する。 ・ 自動車分解整備事業者: 使用者を全て把握しているので周知のための措置は採らない。 ・ 対策完了車両にはステッカーNo.1358を運転座席下の原動機室前面カバーに貼り付ける		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤンマー	L1DA	V1-1A	L1DA-12513~L1DA-12522 平成16年11月1日~平成16年12月1日	9台	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成16年11月1日~平成16年12月1日	(計9台)	

改善箇所説明図

制動装置



ケーブル式ブレーキにおいて、ブレーキペダル及び駐車ブレーキレバーとブレーキカムレバーを繋いでいるそれぞれのケーブルのニップルエンドのかしめが不適切なものがあるため、ブレーキ操作をした時にニップルエンドが外れ、主ブレーキまたは駐車ブレーキが作動しなくなるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、ブレーキペダル及び駐車ブレーキとブレーキカムレバーを繋いでいるそれぞれのケーブルを良品と交換する。

注: は、交換部品を示す。 識別: ケーブルのU金具A部に黒丸2箇所表示。

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室
TEL 03-5253-8111 内線 42353
アドレス :http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成17年2月25日

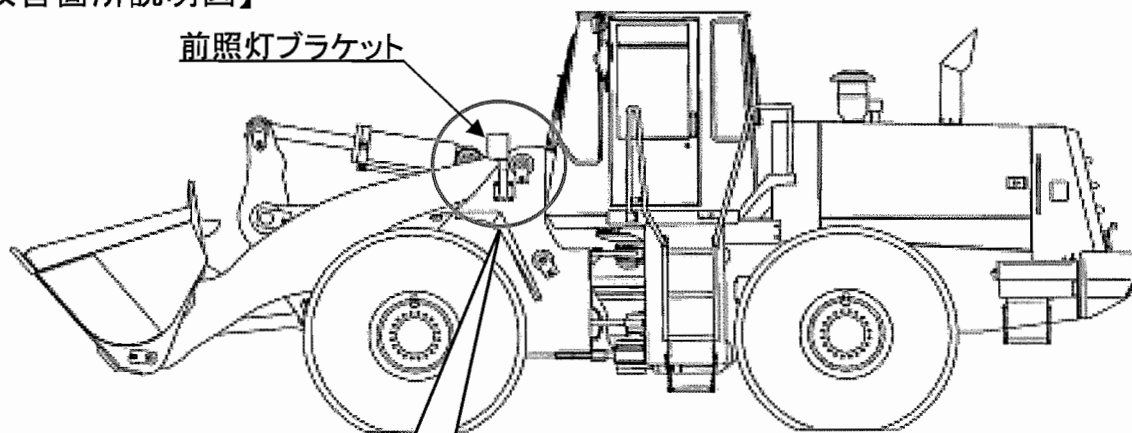
リコール届出番号	1370	リコール開始日	平成17年2月26日
届出者の氏名又は名称	TCM株式会社 問い合わせ先 竜ヶ崎工場 品質保証部 取締役社長 田坂 陸郎 TEL 0297-62-4661		
不具合の部位(部品名)	警音器		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	警音器の取付けブラケットの強度が不足しているため、走行時等の共振により当該ブラケットに亀裂が発生することがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行して警音器の音色が変化し、最悪の場合、警音器が脱落するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、警音器の取付けブラケットの強度を増した対策品と交換するとともに、警音器が共振しないように取付位置を変更する。		
不具合件数	2件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none">・ 使用者:電話または直接訪問にて通知する。・ 自動車分解整備事業者:全使用者を把握しているため周知のための措置は取らない。・ 改善実施済車:キャビン右側面の後方下隅に No. 1370 のステッカーを貼付する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 の範囲および製作期間	リコール対象車 の台数	備考	
TCM	S32 S32F SD-S32 SD-S32F	L27	S32- 01198 ~ S32- 01215 (平成16年 1月 5日~平成16年 2月 23日)	2		
			S32- 02101 ~ S32- 02237 (平成16年 1月 4日~平成17年 2月14日)	29		
	S33 S33F SD-S33 SD-S33F	L32	S33- 01166 ~ S33- 01176 (平成16年 1月 19日~平成16年 4月 1日)	4		
			S33- 02101 ~ S33- 02192 (平成16年 2月 24日~平成17年 2月14日)	15		
	S34 S34F SD-S34 SD-S34F	L35 L40	S34- 04121 (平成16年 2月 5日)	1		
			S34- 07108 ~ S34- 07123 (平成16年 6月 1日~平成17年 2月14日)	4		
			S34- 05101 ~ S34- 05160 (平成16年 2月 26日~平成17年 2月14日)	7		
	日立	HS32 HS32L SD-HS32 SD-HS32L	LX130	S32- 01199 ~ S32- 01213 (平成16年 1月 6日~平成16年 2月 13日)	4	
				S32- 02105 ~ S32- 02226 (平成16年 3月 13日~平成17年 2月14日)	13	
HS33 HS33L SD-HS33 SD-HS33L		LX160	S33- 02104 ~ S33- 02179 (平成16年 3月 11日~平成17年 1月18日)	5		
HS34		LX190	S34- 07101 (平成16年 2月 20日)	1		
古河	FS32 FS32L SD-FS32 SD-FS32L	FL335	S32- 01205 (平成16年 1月 16日)	1		
			S32-02136 ~ S32-02207 (平成16年6月11日~平成16年12月 9日)	4		
	FS33	FL345	S33- 02164 (平成16年 11月 9日)	1		
	FS34 FS34L	FL355	S34- 07102 ~ S34- 07105 (平成16年 3月 5日~平成16年 4月22日)	2		
	(計28型式) (計10車種)		(製作期間全体の範囲) 平成16年1月5日~平17年2月14日	(合計93台)		

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(CC))	備考
TCM	S32 SD-S32	L27	大型特殊・建設機械	ショベルローダ	いすゞ6HK1 (7,790)	
	S32F SD-S32F		大型特殊	フォークローダ		
	S33 SD-S33	L32	大型特殊・建設機械	ショベルローダ	いすゞ6HK1 (7,790)	
	S33F SD-S33F		大型特殊	フォークローダ		
	S34 SD-S34	L35 L40	大型特殊・建設機械	ショベルローダ	三菱6D24 (11,945)	
	S34F SD-S34F		大型特殊	フォークローダ		
日立	HS32 SD-HS32	LX130	大型特殊・建設機械	ショベルローダ	いすゞ6HK1 (7,790)	
	HS32L SD-HS32L		大型特殊	フォークローダ		
	HS33 SD-HS33	LX160	大型特殊・建設機械	ショベルローダ	いすゞ6HK1 (7,790)	
	HS33L SD-HS33L		大型特殊	フォークローダ		
	HS34 SD-HS34	LX190 LX230	大型特殊・建設機械	ショベルローダ	三菱6D24 (11,945)	
	HS34L SD-HS34L		大型特殊	フォークローダ		
古河	FS32 SD-FS32	FL335	大型特殊・建設機械	ショベルローダ	いすゞ6HK1 (7,790)	
	FS32L SD-FS32L		大型特殊	フォークローダ		
	FS33 SD-FS33	FL345	大型特殊・建設機械	ショベルローダ	いすゞ6HK1 (7,790)	
	FS33L SD-FS33L		大型特殊	フォークローダ		
	FS34 SD-FS34	FL355 FL365	大型特殊・建設機械	ショベルローダ	三菱6D24 (11,945)	
	FS34L SD-FS34L		大型特殊	フォークローダ		

【改善箇所説明図】



警音器の取付けブラケットの強度が不足しているため、走行時等の共振により当該ブラケットに亀裂が発生することがある。そのまま使用を続けると、亀裂が進行して警音器の音色が変化し、最悪の場合、警音器が脱落するおそれがある。

対策前（警音器周辺写真）	対策前（警音器写真）

措置内容

全車両、警音器の取付けブラケットの強度を増した対策品と交換するとともに、警音器が共振しないように取付位置を変更する。

対策後（警音器周辺写真）	対策後（警音器写真）
	<p>警音器の保安基準(43条)を満足させるため、警音器を変更する。</p>

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
 TEL 03-5253-8111 内線42353
 アドレス: <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成17年 3月 3日

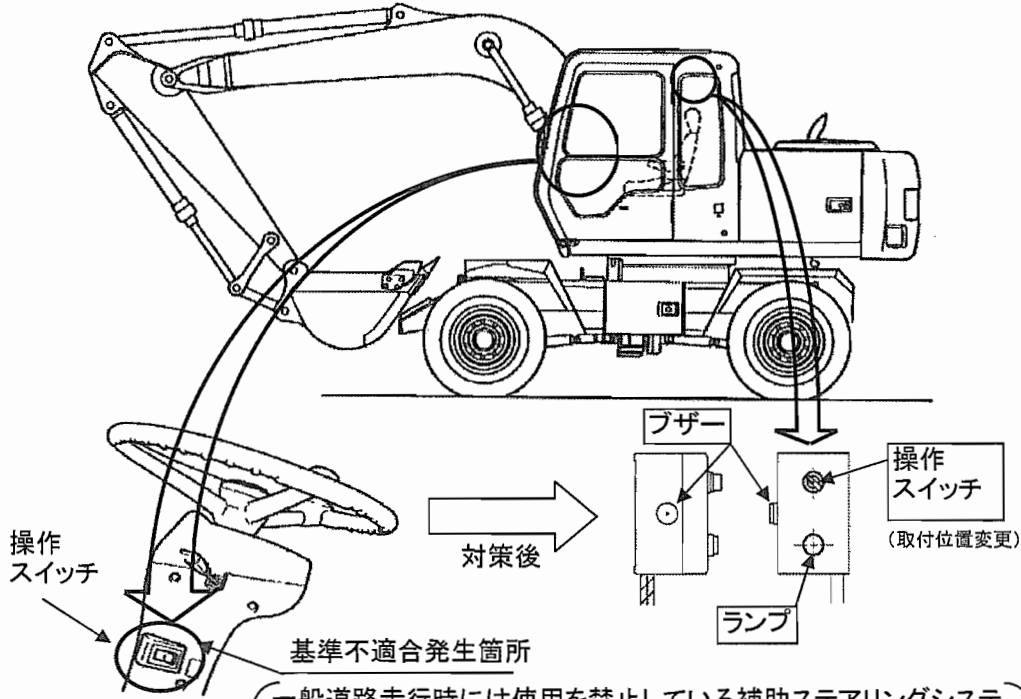
リコール届出番号	1351	リコール開始日	平成17年 3月 4日
届出者の氏名又は名称	日立建機株式会社 代表執行役 太宰 俊吾	製作国:日本 製作者名:日立建機株式会社 問合せ先:日立建機 事業統括本部 品証センター サービスG T e l : 0 2 9 - 8 3 2 - 7 1 0 9	
不具合の部位(部品名)	かじ取り装置(補助ステアリングシステム)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	一般道路走行時には使用を禁止している補助ステアリングシステム(運転席を後方に向けて作業する際の操作性を確保するための装置)において、当該システムの誤操作防止構造が十分ではないため、一般道路走行時に当該システムの操作スイッチ(逆ステアリングスイッチ)を誤って操作した場合、当該システムが作動し、操舵時に運転手の意思に反して逆方向に操舵される。		
改善措置の内容	全車両、一般道路走行時には補助ステアリングシステムの操作スイッチを操作できないように、当該スイッチの取付位置を運転席の後方に移設し、当該スイッチが作動状態である場合、運転者に対し警告する警報ブザーを取り付ける。		
不具合件数	1件	事故の有無	自損事故 1件
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:全使用者を把握しており、直接電話等で通知する。 ・自動車分解整備事業者:全使用者を把握しているので、周知のための措置はとらない。 ・対策完了車については、ステッカー(1351)を左後方窓の内側に貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号) の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
日立	100W	EX100WD-2	2003~2462 平成 4年 4月 1日 ~平成 7年 3月 1日	4台	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成 4年 4月 1日 ~平成 7年 3月 1日	(計4台)	

リコール対策対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量 (CC))	備考
日立	100W	EX100WD-2	大型特殊・ 建設機械	ショベル・ ローダ	いすゞ4BD1 (3865)	

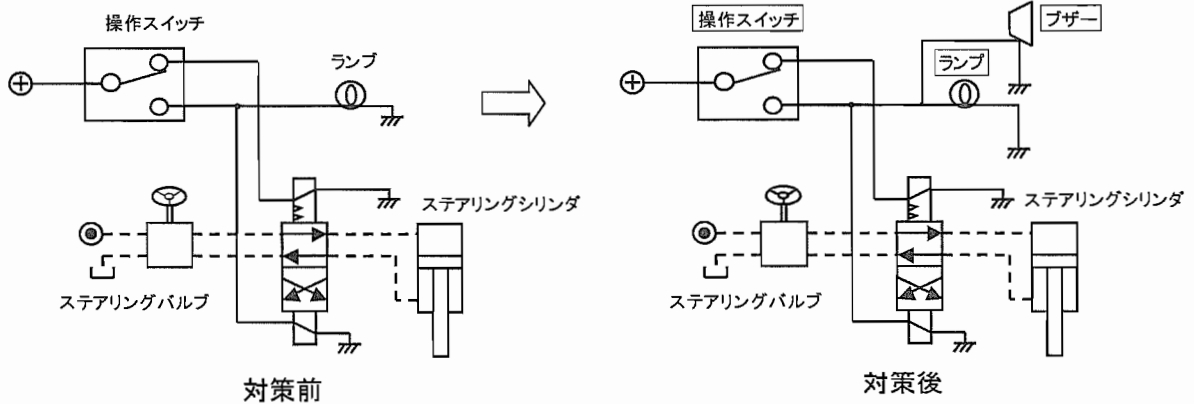
改善箇所説明図



一般道路走行時には使用を禁止している補助ステアリングシステム(運転席を後方に向けて作業する際の操作性を確保するための装置)において、当該システムの誤操作防止構造が十分ではないため、一般道路走行時に当該システムの操作スイッチ(逆ステアリングスイッチ)を誤って操作した場合、当該システムが作動し、操舵時に運転手の意思に反して逆方向に操舵される。

改善内容

全車両、一般道路走行時には補助ステアリングシステムの操作スイッチを操作できないように、当該スイッチの取付位置を運転席の後方に移設し、当該スイッチが作動状態である場合、運転者に対し警告する警報ブザーを取り付ける。



□ は追加・変更部品を示す。

識別: 外観上、操作スイッチの位置にて容易に識別可能なため特別な識別の追加は行わない。

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL:03-5235-8111 内線 42353
 アドレス <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成 17年 3月 8日

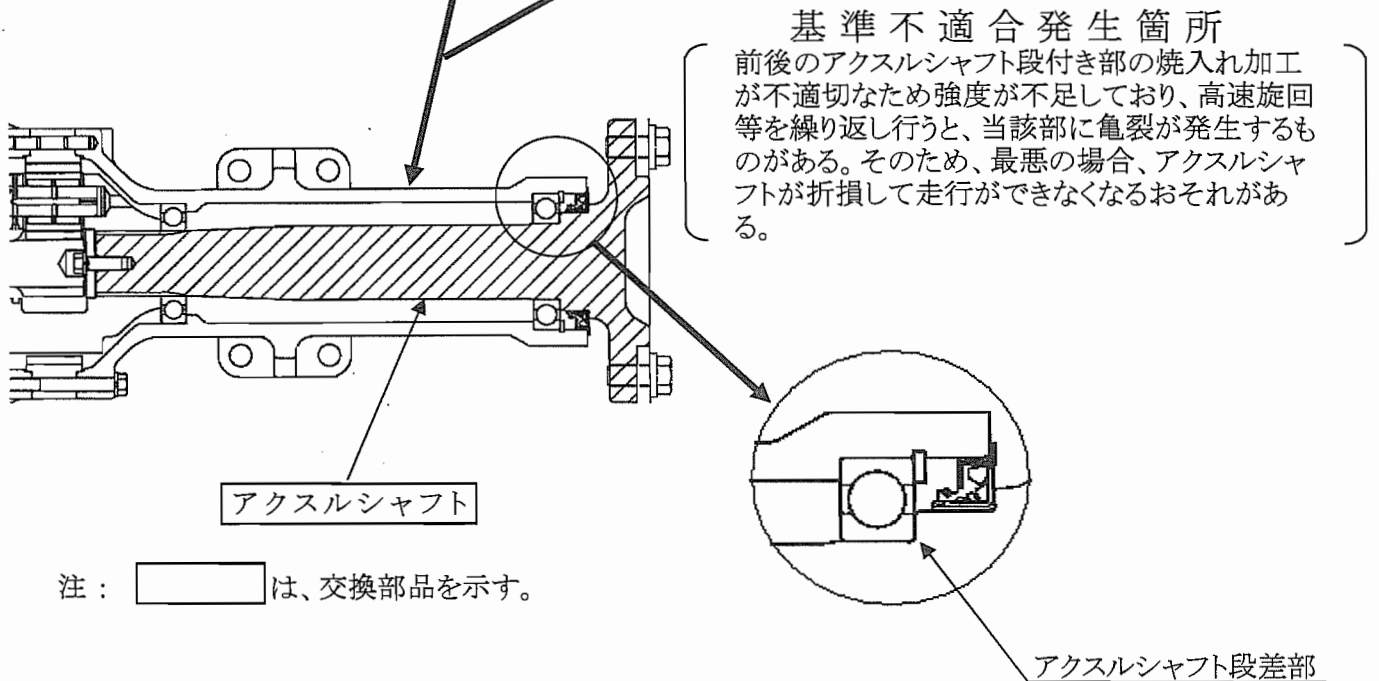
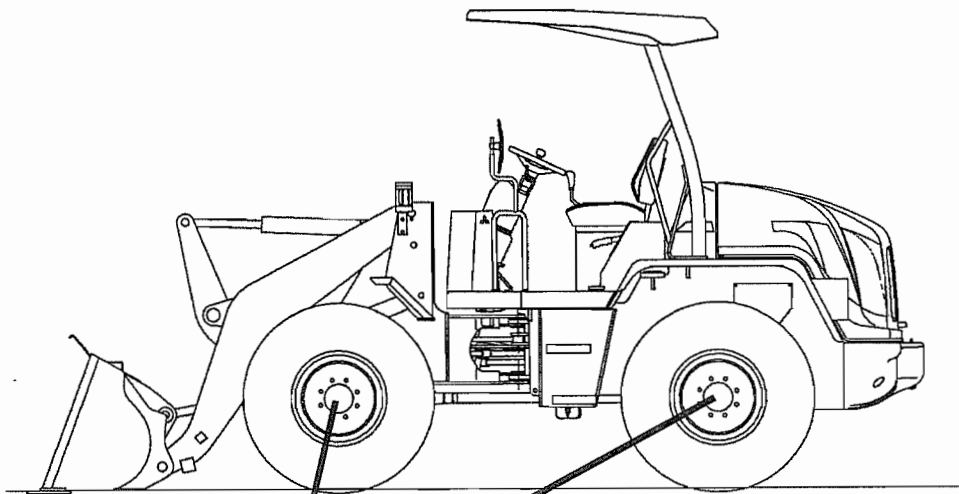
リコール届出番号	1385	リコール開始日	平成 17年 3月 8日
届出者の氏名又は名称	新キャタピラー三菱株式会社 代表取締役 広瀬 正典 問い合わせ先:新キャタピラー三菱(株) 相模カスタマーサポート部 TEL (042)764-8662		
不具合の部位(部品名)	動力伝達装置(アクスルシャフト)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	前後のアクスルシャフト段付き部の焼入れ加工が不適切なため強度が不足しており、高速旋回等を繰り返し行くと、当該部に亀裂が発生するものがある。そのため、最悪の場合、アクスルシャフトが折損して走行ができなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、アクスルシャフトを対策品と交換する。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。(構内作業専用車)		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> 所有者及び使用者をすべて把握しており、直接電話等で連絡する。 自動車分解整備事業者への連絡は、使用者を全て把握しているので周知のための措置はとらない。 対策実施済み車には、シートボックス左側前面にステッカー (No.1385) を貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
三菱	9W	三菱 ホイールローダ WS510	9W000003 ~ 9W001186 平成11年11月26日~平成16年10月15日	280台	
	(計 1型式)	(計 1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成11年11月26日~平成16年10月15日	(計280台)	

(リコール対象車の主要諸元)

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(cc))	備考
三菱	9W	三菱 ホイールローダ WS510	大型特殊・ 建設機械	ショベル ・ローダ	三菱S4K (4,249)	

改善箇所説明図



改善の内容

全車両、アクスルシャフトを対策品と交換する。

識別： アクスルシャフトのリム取付部端面に赤色ペイントを塗布する

改善前	改善後
<p>[段差部 隅 R 2]</p> <p>高周波焼入れ範囲</p> <p>1.0⁰/_{-0.5}</p> <p>R2またはR4</p>	<p>[段差部 隅 R 4]</p> <p>高周波焼入れ範囲</p> <p>5 ± 2</p> <p>R4</p>

